

教科(科目)	数学C	単位数	2単位	学年(コース)	2年次 選択
使用教科書	最新 数学C(数研出版)				
副教材等					

1 学習目標

ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 数学的な表現の工夫について認識を深め, 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。

2 指導の重点

数学は, 積み重ねが大切な教科であることを踏まえ,
 ② 基本的な計算方法の習得を重視し, 既習事項の応用が適切にできる力の獲得を目指します。
 ②更に, 式や証明を正確に書く習慣を養い, 論理的な表現ができるよう努力する態度を育てます。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学的な表現の工夫について認識を深め, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさや向きをもった量に着目し, 演算法則やその図形的な意味を考察する力, 図形や図形の構造に着目し, それらの性質を統合的・発展的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行う。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。 	数学を活用して事象を論理的に考察する力, 事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善しようとしたりしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ, ・定期考査や小テストの分析 ・観察, 実験, 式やグラフでの表現の観察 ・学習プリントやワークシート, 等の提出物の内容の確認などから, 評価します。	以上の観点を踏まえ, ・定期考査や小テストの分析 ・授業中の発言, 発表や討論への取組の観察 ・学習プリントやワークシート, 等の提出物の内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析などから, 評価します。	以上の観点を踏まえ, ・授業中の発言, 発表や討論への取組の観察 ・学習プリントやワークシート, 等の提出物の内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析などから, 評価します。

5 学習計画

月	単元名	学習内容	時間	評価の観点	評価方法
4 5 6	平面上のベクトル	<ul style="list-style-type: none"> 有向線分とベクトル, ベクトルの表記について理解する ベクトルの加法, 減法, 実数倍の計算の仕組みを理解する 座標平面上のベクトルの成分を読み取り, その大きさを求める ベクトルの大きさとなす角から, 内積を求める 内積の性質(計算法則)を理解し, 計算に利用する 	16	a, b, c	学習プリント・ノート(記述の点検・確認)
	前期中間考査		1	a, b	ペーパーテスト(記述の分析)

7 9	ベクトルと平面図形	<ul style="list-style-type: none"> 線分の内分点, 外分点を位置ベクトルで表す公式を理解する ベクトルの分解について理解する 	5	a, b, c	学習プリント・ノート(記述の点検・確認)
	空間のベクトル	<ul style="list-style-type: none"> 空間における図形を, 図や座標を利用して示す 空間のベクトルを与えられた3つのベクトルで表す 成分表示されたベクトルの大きさ, 相等, 和, 差, 実数倍の計算をする 立体図形におけるベクトルの内積を, 適切な方法で計算をする 	12	a, b, c	学習プリント・ノート(記述の点検・確認)
	前期期末考査		1	a, b	ペーパーテスト(記述の分析)
10 11	複素数平面	<ul style="list-style-type: none"> 複素数平面について理解する 複素数を, 複素数平面上の点として表示する 複素数α, βに対し, $\alpha + \beta, \alpha - \beta$を表す点を複素数平面上に表示する 複素数を極形式で表す ド・モアブルの定理の意味を理解する ド・モアブルの定理を利用して, 複素数のn乗の値を求める 	16	a, b, c	学習プリント・ノート(記述の点検・確認)
	後期中間考査		1	a, b	ペーパーテスト(記述の分析)
12 1 2	式と曲線	<ul style="list-style-type: none"> 放物線の方程式から, 焦点, 準線などを求める 放物線の概形をかく 楕円の方程式から, 焦点, 長軸・短軸の長さなどを求める 楕円の概形をかく 双曲線の方程式から, 焦点, 頂点, 漸近線などを求める 双曲線の概形をかく 	17	a, b, c	学習プリント・ノート(記述の点検・確認)
	後期期末考査		1	a, b	ペーパーテスト(記述の分析)

計 70 時間 (50 分授業)

6 課題・提出物等

- 単元ごとに学習プリントを配布するので, 授業中に取組み解説を聞いて, 定着を図ります。
- 授業中は, しっかりと「聴く」「考える」「書く」。
- 出された課題にしっかりと取組み, 提出期限を守る。
- 長期休業中の課題は, 別途指示します。

7 担当者からの一言

- 数学 I の内容を基盤にして授業を進めます。数学 I に比べて授業のペースは速く, 内容も高度になるため 1 回の欠席が大きな負担となります。毎時間しっかりと出席をしてください。
- 自分で考えるを大切に, しっかりと課題に取り組んでくれることを期待します。
- 成績評価は定期考査と提出物・出席・授業態度などを合わせて総合的に評価します。